

目 次

特別支援教育課

- ・第四次秋田県特別支援教育総合整備計画（素案）・・・・・・別添

生涯学習課文化財保護室

- ・秋田の縄文遺跡群保存活用基本構想（骨子案）について・・・・1

令和4年第2回定例会（9月議会）

教育公安委員会提出資料

（所管事項審査関係資料）

令和4年9月15日

教 育 委 員 会

秋田の縄文遺跡群保存活用基本構想（骨子案）

生涯学習課文化財保護室

【現状と課題】

- 世界遺産登録を受けて、大湯環状列石と伊勢堂岱遺跡で来訪者が大幅に増加しており、来訪者の増を地域の活性化や賑わい創出に効果的に結び付ける必要がある。
- 各遺跡で保存と活用に取り組んでいるが、両遺跡による連携や文化財保護分野以外の観光・物販分野の団体との連携が十分に進んでいない。

【対応方針】

- 世界遺産登録の効果をより一層発揮させるため、保存活用の基本構想を策定し、両遺跡の関係者や多くの関連分野の団体が同じ未来像を共有しながら、受入体制の整備や魅力的な情報発信、賑わいの創出などに連携して取り組む。

【未来像】—ストーンサークルがつなぐ人の和—

- 遺跡を守りその価値を伝える多くの人々と、そこを訪れる様々な人々とをつなぎ、時代を超えてその環境と価値が受け継がれ、世界中の人々との和（環）が生まれる場所として活用されている。

【スケジュール】

- 9月 県議会（骨子案）
秋田県縄文遺跡群保存活用連絡会議（書面開催）
- 12月 県議会（素案）、パブリックコメント
- 2月 県議会（成案）
- 3月 策定

【構想の章立て】

第1章 策定の目的と位置づけ

- 策定の目的（基本構想を策定する背景と目的）
- 構想の基本的な考え方（他計画との整合性や策定主体） 等

第2章 縄文遺跡群と県内の構成資産

- 秋田の縄文遺跡群の価値（歴史・教育・地域資産としての価値）
- 世界遺産としての縄文遺跡群の構成（登録の評価基準との関係）
- 構成資産の概要（各遺跡の概要と守るべき価値） 等

第3章 県内構成資産の現状と課題

- 現状と課題（遺跡を巡る動向と先行事例の状況）
- 世界遺産環境整備調査事業アンケート調査の結果（地元での課題意識や意見） 等

第4章 秋田の縄文遺跡群の未来像

- 未来像（秋田の縄文遺跡群が目指していく姿）

第5章 基本方針と施策の展開

- 基本方針（保存・整備・人材育成・一体的発信）
- 施策の展開（施策ごとの具体的な取組内容） 等

第6章 未来像の実現に向けて

- 推進体制（保存活用連絡会議の役割）
- 持続的な運営に向けて（取組に係る協力体制の構築） 等